

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 321-03-01

事務事業名		戦没者遺族等支援事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)・法定受託事務	
担当部署名		保健福祉政策課			連絡先		内線1123	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	地域福祉			款	3	民生費
	施策の方向	1	地域における支え合い・助け合いの仕組みづくり			項	1	社会福祉費
						目	2	社会福祉事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市戦没者遺族会・戦没者遺族						
	目的 (どうしたいか)	・遺族会の運営及び活性化を図る。 ・戦没者遺族の福祉の増進を図る。						
	手段 (事業内容)	・戦没者遺族の福祉の増進を図るための活動や戦没者の慰霊追悼式の実施。 ・援護法等に基づく特別弔慰金をはじめとする各種給付金に関する受付給付業務(法定受託業務) ・遺族会への助成事業。						

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	1,470	1,425	1,387
決算額	事業費	701	1,302	-
	特定財源等	84	103	-

≪主な内訳(令和4年度決算)≫

【事業費】	
団体助成金	258千円
報償費(奨励金)	1,000千円
追悼式供花代	20千円
特別弔慰金等関係費	24千円
【特定財源】	
(府)遺家族等援護事務交付金	103千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	戦没者遺族会評議員数	単位	人	
指標の説明	地域で戦没者遺族会の活動を担う評議員数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		40	40	40
実績		39	39	-

≪事業の参考数値等≫

【追悼式参加者数】	
R2:10名	R3:11名 R4:44名
【第11回特別弔慰金】	
(受付期間R2.4.1~R5.3.31)	
(R5.3月末現在)	
受付件数	629件
交付件数	586件
却下・取下手数	4件

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	戦没者追悼式の遺族参加人数	単位	人	
指標の説明	戦争でなくなられた方を慰霊し、平和への祈念を目的として開催される追悼式の参加者			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		41	60	75
実績		11	44	-

個別評価		
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>従前の改善検討内容であった追悼式の実施方法については、近隣市の追悼式実施状況を調べた結果、本市実施方法の方が経費負担が少額で、遺族参加者数も他市と比較すると大変多いことから、令和元年度からは総合評価を「現状維持」としています。</p> <p>ただ、評議員に実施したアンケート結果や長期化するコロナ感染や遺族会会員の高齢化を受け、近隣市の追悼式と同様の実施方法を昨年度から試行しており、当面は現状維持のまま実施し、改善できる方向を検討していきます。</p>	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
<p>追悼式については、戦没者を追悼し、平和を祈念するとともに遺族会の目的である遺族会会員相互の親睦を図る行事としての役割も担っています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和2年度から3年間にわたる遺族の参加制限や実施規模の縮小が続き、今後もしばらくの間は同様の対応が必要と思われます。令和5年度に評議員にアンケートを実施した結果を基にして、このような状況の長期化や、遺族会会員の高齢化も併せて、実施方法等を検討してまいります。</p>

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 322-01-01

事務事業名	民生委員関連事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1122	
担当部署名	保健福祉政策課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち		款	3	民生費
	施策	2	地域福祉		項	1	社会福祉費
	施策の方向	2	地域活動を支える担い手づくり		目	2	社会福祉事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市民生委員児童委員協議会					
	目的 (どうしたいか)	運営及び活性化を図る。					
	手段 (事業内容)	羽曳野市民生委員児童委員協議会の運営にかかる事業費を助成している。また、事務局として、定例会の開催・府補助金等の庶務・民生委員児童委員の推薦に関わる庶務等を担当している。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	1,994	1,974	1,986
決算額	事業費	1,883	1,904	-
	特定財源等	396	396	-

≪主な内訳(令和4年度決算)≫

【事業費】	
推薦会委員報酬	189千円
助成金	1,710千円
旅費	5千円
【特定財源】	
民生委員協議会費負担金	349千円
民生委員推薦会費負担金	46千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	民生委員・児童委員数	単位	人	
指標の説明	民生委員・児童委員として委嘱された人数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		188	188	188
実績		171	172	-

≪事業の参考数値等≫

民生委員・児童委員数	158人
主任児童委員数	14人
合計	172人

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	民生委員相談支援件数	単位	件	
指標の説明	地域とのつながりを大切にし、必要があれば行政等専門機関へ繋げ、問題解決を図っている。			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		2,500	2,500	2,500
実績		1,775	2,101	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>民生委員児童委員は、令和4年度もコロナ禍の中、友愛訪問や会食会、要援護者の把握と情報提供、役割分担の明確化など、地域校区福祉委員会及びふれあいネット雅びに参加し地域福祉活動の推進において中核的な役割を担いました。</p> <p>又、認知症予防、サロン活動、たまり場カフェの開催並びに研修・各種事業、ボランティア活動に積極的に参加しました。</p>	

今後の改善内容	(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
<p>令和5年5月に、新型コロナが5類へ移行したことにより徐々にコロナ禍以前の状況に戻つつあります。感染予防対策を行いながら、今まで以上に民生委員・児童委員一人ひとりが住民の立場に立ち相談・援助活動を推進していきます。</p> <p>併せて、民生委員の欠員校区における欠員の解消(担い手確保)に努めると同時に民生委員の負担を軽減するため協力員制度について検討していきます。</p>	

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 322-01-03

事務事業名	ファイン推進基金管理運用事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1121	
担当部署名	保健福祉政策課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち		款	3	民生費
	施策	2	地域福祉		項	1	社会福祉費
	施策の方向	2	地域活動を支える担い手づくり		目	1	社会福祉総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域における保健福祉					
	目的 (どうしたいか)	民間活動の活発化を図りつつ地域の特性に応じて立案・実施された施策を資金面から援助すること及び本市の保健福祉事業の資金に充てること。					
	手段 (事業内容)	ファイン推進基金をもっとも確実かつ有利な方法により管理し運用資金を活用しつつ、上記の目的を達成するための事業に必要な経費として充てていく。 【基金活用事業:地域福祉関連団体助成事業、地域福祉推進委員関連事務事業、災害時要援護者支援ネットワーク構築事業など】					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 地域福祉関連団体助成事業 1,190千円 避難行動要支援者ネットワーク構築事業委託料1,210千円 日常生活自立支援事業助成金 2,075千円 ボランティアセンター活動事業補助金 692千円 地域福祉組織強化支援事業助成金 4,668千円 地域福祉推進委員会関連164千円 【特定財源】 基本繰入金9,999千円	
当初予算額	事業費	5,707	5,705	10,469		
決算額	事業費	6,177	9,999	-		
	特定財源等	6,177	9,999	-		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			
指標名	基金運用にて行った事業件数	単位	件	
指標の説明	運用件数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	5	5	6	
実績	6	6	-	

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			
指標名	基金残高	単位	千円	
指標の説明	年度末基金残高(5月末現在)			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	555,849	557,925	557,894	
実績	561,573	559,688	-	

≪事業の参考数値等≫

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
低金利による運用益の確保に難しさを抱えていますが、地域における保健福祉を積極的に推進していくためにも、適正な管理、運用に努めていきます。	

今後の改善内容	(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
---------	----------------------

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 332-01-03

事務事業名		金婚祝賀事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		保健福祉政策課		連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
					目	3	老人福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	結婚50周年を迎えた夫婦					
	目的 (どうしたいか)	長寿及び金婚を祝福し、高齢者福祉の増進に寄与する。					
	手段 (事業内容)	敬老会との合同開催にて式典と演芸を開催。また、記念写真を贈呈する。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	324	429	429
決算額	事業費	126	135	-
	特定財源等	0	0	-

≪主な内訳(令和4年度決算)≫

【事業費】
金婚祝賀会開催委託料 0千円
金婚祝賀会記念品代 135千円
【特定財源】

活動指標 (事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			
指標名	申請組数	単位	組
指標の説明	金婚祝賀会に参加の申請があった夫婦		
		令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	43	32	-

≪事業の参考数値等≫

成果指標 (事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			
指標名	参加組数	単位	組
指標の説明	金婚祝賀会に参加した夫婦(令和3・4年度は動画配信の案内を送付した夫婦)		
		令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	43	32	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>令和2年度に新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催中止となったこと等から、ホテル等での式典及び祝宴というこれまでの開催方法を、LICはびきにおいて敬老会と同時開催することし、記念写真を贈呈とする見直しを行いました。令和3年度はいわゆる新型コロナの第5波により、令和4年度は台風接近により、やむを得ず無観客で収録を行い動画配信の実施となりました。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえた対応や社会情勢の変化・近隣市の状況等を参考に、事業のあり方について引き続き検討してまいります。</p>	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえた適切な開催形態の検討に努めます。</p> <p>また、記念写真については、社会情勢の変化や近隣市の状況等を参考に、事業のあり方について引き続き検討していきます。</p>

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 332-01-04

事務事業名		敬老会開催事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		保健福祉政策課			連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉			款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進			項	1	社会福祉費
						目	3	老人福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	60歳以上の市民						
	目的 (どうしたいか)	高齢者に対し、祝福の意を表し、合わせてその長寿を祝い、敬老思想の高揚と高齢者福祉の増進に寄与する。						
	手段 (事業内容)	9月に、市内1会場において、敬老会と金婚祝賀会を合同開催、一部は式典、二部は芸能人による演芸会を実施。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 委託料 2,743千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	2,676	2,771	2,923		
決算額	事業費	2,463	2,743	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標 (事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)				
指標名	開催個所数	単位	箇所	
指標の説明	開催した会場の数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	1	1	1	
実績	1	1	-	

成果指標 (事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)				
指標名	参加人数	単位	人	
指標の説明	各会場に参加した人数の合計(令和3・4年度は動画配信の案内を送付した人数)			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	500	500	500	
実績	128	142	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として参加者の密集を避けるため会場を、昨年度に引き続き1箇所に集約し、金婚祝賀会と敬老会の合同開催とすることで、効率的・効果的に実施することができました。</p> <p>一方で、台風接近に伴い無観客で収録を行い、動画配信の実施となったため、動画配信時のQRコード配布についての効果的な周知方法についての検討が課題となりました。</p>	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
<p>新型コロナウイルスの5類移行を受けて、座席配置等の継続すべきコロナ対策のあり方について検討を行う必要があります。</p> <p>動画配信にあたっては、配信条件等についての委託業者との協議や、高齢者団体等を通じたQRコード配布の周知など、より効果的な実施方法を検討する必要があります。</p>

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 332-01-06

事務事業名		交流・ふれあい推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		保健福祉政策課		連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
					目	3	老人福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	65歳以上の市民					
	目的 (どうしたいか)	公衆浴場を市民相互のコミュニケーションの場として活用し、入浴を通じて高齢者の健康増進を図る。					
	手段 (事業内容)	対象の高齢者に市内公衆浴場(ひかり湯)で無料で入浴していただく。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	300	300	0		
決算額	事業費	300	300	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	敬老入浴事業開催回数	単位	回	
指標の説明	敬老入浴事業開催回数(年間)			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		12	12	0
実績		12	12	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	延べ利用者数	単位	人	
指標の説明	敬老入浴を利用した年間延べ人数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		1,000	1,000	0
実績		779	729	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	休止・廃止
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
向野共同浴場を廃止する条例が令和5年4月1日に施行されたことから、本事業も令和4年度末をもって廃止しました。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 332-01-07

事務事業名	敬老記念品事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1121	
担当部署名	保健福祉政策課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち		款	3	民生費
	施策	3	高齢者福祉		項	1	社会福祉費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		目	3	老人福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市内に居住する高齢者					
	目的 (どうしたいか)	長寿を祝福し、併せて敬老思想の高揚及び高齢者福祉の増進に寄与する。					
	手段 (事業内容)	①男女最高齢者に花束を贈呈②満100歳の者に花束を贈呈③敬老会を開催する市内養護老人ホーム及び特別養護老人ホームに記念品を贈呈					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 ①男女最高齢者に花束 2名 10千円 ②満100歳の者に花束 18名 81千円 ③敬老会を開催する施設 贈呈なし 【特定財源】	
当初予算額	事業費	511	481	435		
決算額	事業費	152	91	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			
指標名	延べ贈呈数	単位	数	
指標の説明	①②③の贈呈の人数及び施設数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		28	28	28
実績		25	20	-

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			
指標名	延べ贈呈数	単位	数	
指標の説明	①②③の贈呈の人数及び施設数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		28	28	28
実績		25	20	-

≪事業の参考数値等≫

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。		B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与してきたことに感謝するとともに、高齢者福祉についての関心と理解を深めることを目的としており、引き続き事業を実施してまいります。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 332-03-02

事務事業名		老人クラブ運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		保健福祉政策課		連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
					目	5	老人福祉施設費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市老人クラブ連合会及び同会に加入する老人クラブ					
	目的 (どうしたいか)	運営が円滑に行われるように援助を行い、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。					
	手段 (事業内容)	場所の提供、備品の提供、他課との調整を行い、事業の援助等を行っている。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	10,273	9,986	9,408
決算額	事業費	4,872	8,209	-
	特定財源等	2,614	3,844	-

《主な内訳(令和4年度決算)》

【事業費】
老人クラブ連合会運営活動事業費 2,500千円
単位老人クラブ活動事業費 5,709千円

【特定財源】
国、府助成金 3,844千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	事業数	単位	回	
指標の説明	羽曳野市老人クラブ連合会事業の延べ回数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		20	20	0
実績		4	14	-

《事業の参考数値等》

単位クラブ数 100
会員数 4,615人

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加者数	単位	人	
指標の説明	羽曳野市老人クラブ連合会事業の延べ参加者数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		2,000	2,000	2,000
実績		207	920	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
老人福祉法に基づき、老人の福祉の増進を目的とする事業の振興を図るため、引き続き援助を維持してまいります。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 332-04-01

事務事業名		埴生南老人いこいの家施設管理事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		保健福祉政策課			連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉			款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進			項	1	社会福祉費
						目	5	老人福祉施設費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	60歳以上の市民						
	目的 (どうしたいか)	高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための場を提供し、高齢者の福祉に寄与する。						
	手段 (事業内容)	施設の維持・管理を行う。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 光熱水費等 1,392千円 (シルバーワークプラザを含む) 清掃・管理委託費 1,383千円 施設整備費 1,895千円	
当初予算額	事業費	3,190	5,299	4,670		
決算額	事業費	2,740	4,670	-		
	特定財源等	1,577	1,635	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	延べ利用者数	単位	人	
指標の説明		施設を利用した延べ人数		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		3,000	3,000	3,000
実績		2,708	1,884	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	延べ利用者数	単位	人	
指標の説明		施設を利用した延べ人数		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		3,000	3,000	3,000
実績		2,708	1,884	-

≪事業の参考数値等≫

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
地域の高齢者が誰でも気軽に利用できる施設として、今後も市が施設管理を行ってまいります。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
引き続き施設の維持管理を継続して行ってまいります。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 332-04-02

事務事業名		向野老人いこいの家施設管理事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		保健福祉政策課			連絡先		952-0033	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉			款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進			項	1	社会福祉費
						目	5	老人福祉施設費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	60歳以上の市民						
	目的 (どうしたいか)	高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための場を提供し、高齢者の福祉に寄与する。						
	手段 (事業内容)	施設の維持・管理を行う。						

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	5,491	4,765	5,209
決算額	事業費	5,016	4,714	-
	特定財源等	0	0	-

≪主な内訳(令和4年度決算)≫

【事業費】	
光熱水費・通信費等	1,312千円
清掃委託料等管理費	3,065千円
消耗品費等	337千円
【特定財源】	
なし	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	教室延べ受講者数	単位	人	
指標の説明		各教室(カラオケ、体操、折り紙、ちぎり絵、パソコン)の延べ受講者数		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		2,000	2,300	500
実績		1,825	2,147	-

≪事業の参考数値等≫

教室延べ受講者数	2,147人
老人会での利用者数	246人
その他	63人
※月曜日から土曜日まで開館(祝日は休館)	
※令和5年度の教室受講者数目標の減少原因:施設利用の健康体操については、元々自主グループ活動であったため、貸館対象となり、令和5年度の活動指標目標より除いたため。	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設延べ利用者	単位	人	
指標の説明		教室受講者、老人会活動他施設延べ利用者数		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		2,300	2,500	2,500
実績		2,047	2,456	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
高齢者の健康増進や生きがいづくり、また、交流の場として今後も他部局とも調整しながら事業の継続してまいります。	

今後の改善内容	(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
高齢者施策を健康増進や生涯学習事業の観点から、市民のニーズを把握しながら総合的に展開してまいります。	